

医療法人普門院診療所機関誌 平成21年新春号



## 2009年1月の随想

介護老人保健施設看清坊施設長  
グループホーム能羅坊管理者



小山靖夫

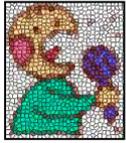
今年のお正月は青天に恵まれ穏やかな3が日で、宇都宮の二荒山神社下の広場や大通りの歩道には沢山の屋台が並び、不況の嵐、解雇や派遣切りの厳しいニュースとは裏腹に、着飾った若い人達や家族連れで賑わっていました。私も、参拝の行列に並び、1時間もかかって石段を登りました。私が祈ったのは、家族の暮らしや健康のことはさておき、日本の将来の誇り有る発展です。気障でも何でもなく、正月はそんな気分でした。

その正月も過ぎて国会が開かれ、不況対策の補正予算審議が始まりましたが、与野党の駆け引きに終始する国会運営、審議の内容の貧困さ、低次元さには目を覆いたくありません。総理大臣に漢字の読み方テストをするなど、国会の場をなんと心得ているのでしょうか？彼らを養うために費やされる国費こそ無駄遣いそのものではないのでしょうか？

海の向こうのアメリカでは、ブッシュが退いて第44代バラク・フセイン・オバマ大統領が就任しました。就任式当日の1月20日。人口58万の首都ワシントンDCに200万人のアメリカ市民が集まり、式場の連邦議会議事堂とホワイトハウス周辺は、星条旗と人波で埋め尽くされていました。オバマの就任演説は、金融破綻に始まる世界を巻き込んだ経済危機、その波及による産業、雇用、教育、医療等生活の現場に巻き起こされる深刻な内政諸問題、さらにイラン、イラク、アフガニスタン等を含むテロリズム作戦の失敗、ガザにみられるイスラエルとイスラム教諸民族との紛争調停の行き詰まりなどを抱え、アメリカが、それこそ未曾有の国家的危機に立っていることを訴えています。そして、アメリカが自らを変えてゆくことによって、この危機を克服できること、さらに、アメリカ人の一人一人が、そのことを自覚し、困難に耐え、努力し、目標に向

かって進むことよってのみそのことが可能となること。アメリカは建国の時から、何  
度も存亡の危機に立たされたが、我らの祖先はその度に大きな犠牲を払いながら、しか  
し、希望を失ったり後戻りを考えたりはせず、信念を持って前進した。この不朽の魂を  
再確認し、世代から世代に受け継がれた尊い贈り物と気高い理念を前進させる時が来た  
のだ。とも述べています。20分足らずの演説の中で、彼は“アメリカ”という言葉  
を15回以上、私ではなく“われわれ”という言葉  
を50回以上使って、問題が一大統領、政  
治家や政府だけに関わるのではなく、国民の一人一人全てが参加することによって初  
めて変革が可能となるのだ。と伝えようとしています。“Change！”，“We can！”  
と叫んだ選挙戦で沸き上がった興奮をそのままに、この就任演説で聴衆が盛り上がった  
のではなく、崖っぷちに立っているアメリカの深刻な現実を確認し、これ乗り越えて  
進まねばならぬのは自分自身なのだと言うことを、アメリカ国民は感じ取ったのではな  
いでしょうか？。TVの画面でも、大拍手、大喝采で静まるまで、演説が途切れるよう  
なことは無かったように見えました。政治家としての確たる理念のもとに責任ある内容  
を国民に訴えた演説だと思いました。

1月28日には麻生首相の施政方針演説がありました。彼も、今回の金融危機が  
100年に一度のものであり、日本もこの危機をチャンスとして「国のかたちを変えねば  
ならない」と述べています。日本は、明治維新（1868年）と第二次世界大戦の敗戦  
（1945年）の2度、国家存亡の危機を乗り越え、国のかたちを変えて進歩発展した  
経験をもっており、今度が3度目の危機であり変革を迫られていること。そして、『私は  
国内にあっては「安心と活力ある社会」を、世界にあっては「新しい秩序創りへの貢献」  
を目指す』と述べています。「危機をチャンスに」という言葉は、4ヵ月前の総理就任  
時の所信表明でも使っていますので、オバマ就任演説を真似たわけでは無いのですが、  
一部の新聞も指摘しているように、全体の構成にはオバマ演説との共通点が多いよう  
です。しかし、世界的な危機にあるこの時期に世界第一位・第二位を占める経済大国の政  
府のトップが、政策の大綱を語るのですから、相反する見解になることの方が問題でし  
ょう。ただ、確かに迫力を較べると、断然オバマに軍配が上がるのですが、これも、方  
や熾烈な選挙戦を勝ち抜いての最初の所信表明であり、勢いに差が出るのは当然でしょ  
う。願わくは、今国会で審議される2009年度予算が、2008年度の第1次・第2  
次補正予算に連結して危機突破の有効な起爆剤となってくれることです。



# 職員の声



看清坊 通所  
坂入智芳

勤務してかれこれ四年目です。今は通所リハビリテーションの仕事についてます。午前中は利用者の迎えや入浴介助、午後には記録まとめや営繕の仕事もして、また、送りに行きます。毎日利用者が気分よく過ごせるよう笑顔で明るくをモットーにこれからも頑張っていきます。



看清坊 介護士  
藤代和子

私は介護の仕事を始め今年で10年目を迎えます。始めはなににもわからず毎日が不安でいっぱいでしたが、良き先輩、同僚に恵まれ色々なことを学びました。これからも色々なことを学び入所者、利用者の方がいつも楽しく笑顔で生活できるように頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくをお願いします。



看清坊 看護師  
大島千江子

看清坊に勤務して6年が過ぎようとしています。8年間のブランク後、仕事復帰する事に戸惑いと不安がありましたが、職場の仲間の方々に支えられながら、今日まで勤務出来ることに心から感謝しております。こんな私ですが、これからも入所者の気持ちになって、ふれあいを通じ、笑顔のあふれるケアを目指し、自分なりに努力していきたいと思えます。



診療所 看護師  
和知万里子

年頭にて、新年の御挨拶を申し上げます。普門院診療所勤務は、日々慌ただしく過ぎていき、ついて行くのが精一杯の中、8年目に入りました。スタッフの助け合いながらの連携作業は見事！その中の1人である事に誇りを持って、これからも微力ながら手伝わさせて頂きたいと思っています。

中間採用職員紹介（採用20年6月～）



看清坊 介護士  
菅又美幸

九月に入社して早四ヶ月が経ち少しずつ現場にも慣れ、利用者の方との触れ合いも慣れてきました。私は介護という仕事には全く携わったことがなかったので、すごく不安でした。しかし入社してみると多くの先輩方に助けられ、指導を受けて少しずつ介護の仕事が身についてきました。利用者の方々に『ありがとう』と言われるのがとても嬉しくてやりがいがある仕事だと実感しました。まだまだ先輩方に習うことばかりですが利用者の方々を笑顔に出来るような介護をしていきたいと思います。利用者の方々にも早く名前を覚えて頂けるようにこれからも頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いします。



看清坊 事務  
見目弘子

陽ざしがこんなに尊とくて、ピアノの音がこんなに優しくかったなんて。利用者のために、一丸となってより良いケアをと工夫模索を重ねられている中で、日々が発見で成長の機会をいただいています。利用者の笑顔に教えられることはあっても、励ませる力はあるのだろうか。でも、利用者のすべてを受け止められている姿勢と同じものを、従事する事務職の役割として常に持ち続けたい。そして、春夏秋冬を一緒に生きたいと思っています。



能羅坊 介護士  
黒子美智子

昨年6月より介護職員として、能羅坊に勤務させて頂いております黒子と申します。介護の仕事は1年生なので先輩のアドバイスを受けながら努力を続ける毎日です。

12月行われたクリスマス会では御家族からも喜んで頂き、心暖まる素敵なパーティーになりました。これからも入居者の皆様が笑顔で過ごせる様に頑張りたいと思います。



# 行事スナップ

クリスマス・灌仏会 看清坊 12/20



クリスマス会 能羅坊 12/21



餅つき大会 (ヤマニ大塚) 12/23



もちつき大会 看清坊 12/28



おせちの会 看清坊 1/1



## ボランティアの風景

### 上野七郎先生ご指導による書道の時間



看清坊では以前より入所者の楽しみ・リハビリの一環として書道を行っておりますが、この度近隣にお住まいの上野先生から（昨年10月9日より）月2回、ボランティアとして指導いただき、入所者一人一人手をとってのご指導により昨年の益子町作品展に出品いたしました。

上野先生は、益子町内において書道ボランティアとして活動し、現在益子中央公民館・七井（アグリ館）の2箇所で開催し、さらに益子町内の3中学校において書写の時間で毛筆を担当する等、書道を通じて幅広く活躍をなさっている先生です。

## 三雅の食卓

## クリスマスメニュー



# お知らせ

寒さも本番となり風邪やインフルエンザが流行する季節となりました。高齢者や病人への感染を防ぐために、発熱した方は、しばらく面会をお控え下さいますようお願い申し上げます。私たち職員も、予防接種を受け、日頃から手洗い・うがい等をよく行って予防に努めています。

併せて、引き続き食中毒の予防も宜しくお願い致します。

## 今後の行事予定

|         |     |                             |
|---------|-----|-----------------------------|
| 2月2日(月) | 看清坊 | ボランティア・バリトン独唱会<br>(13:30開始) |
| 2月3日(火) | 看清坊 | 節分会 (15:00開始)               |
| 3月下旬    | 看清坊 | ジャガイモ植付け                    |

発行日／ 平成21年1月31日  
発行所／ (医) 普門院診療所 介護老人保健施設看清坊  
栃木県芳賀郡益子町益子4493 TEL.0285-70-1150